



いしのまき



東日本大震災から11年

南浜 慰霊碑前で追悼式

銘板などで「いつでも会いに」

東日本大震災から11年となった3月11日、石巻南浜津波復興祈念公園内の石巻市慰霊碑前で、犠牲者を偲ぶ追悼式が行われました。各地区の遺族代表者ら7人を含む方々が参列し、齋藤市長は式辞で震災の犠牲となられた方々の御霊に、哀悼の誠をささげ、改めてすべての支援をいただいた方々に感謝するとともに、復興の完結を誓いました。参列者は発生時刻の午後2時46分に防災行政無線で鳴らされたサイレンに合わせて黙とうをささげ、順に慰霊碑前に進んで花をたむけていきました。

約3,700人の名が刻まれた慰霊碑前で市主催の追悼式を行うのは初めてです。この日、多くの人が献花に訪れ、銘板に刻まれた大切な人の名に触れていました。



公園内では市民主催の「3・11のつどい」もあり、子どもたちがハト型の風船を舞い上げました。

太陽の恵みを受け、
 太平洋と北上川に育れた「日高見の国」。
 わたしたちは、この美しい郷土を愛し、
 笑顔あふれる希望のまちをつくり伝える
 ため、ここに市民憲章を定めます。
 まもりたいものがある
 それは 生命のいとなみ 豊かな自然
 つたえたいものがある
 それは 先人の知恵 郷土の誇り
 たいせつにしたいものがある
 それは 人の絆
 感謝のこころ
 わたしたちは 石巻で生きてゆく
 共につくろう 輝く未来



石巻市民憲章

平成20年4月1日制定

4月1日は市民憲章の日

市民憲章について考え、語り合い次世代へ受け継いでいきましょう。地域の集会所や職場などに市民憲章のポスターを掲示しましょう。

※市民憲章のポスター(A2判)を希望の方は問い合わせください。



図 地域協働課